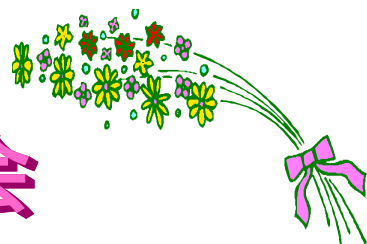


東京新英研 2017



# 春の特別研究集会

～希望と笑顔にあふれる新学期を迎えるために～

すべての生徒の心に寄り添う外国語教育をめざして

日時： 3月27日（月）11:00～17:30

場所： 明治学院大学白金キャンパス、3号館 3202 教室

内容： 10:30～

受付開始

11:00～11:30

**東京新英研 総会**

11:30～12:30

**教材バザール&ランチタイム・カフェ**

東京名物・プリントバイキング！  
教室で使えるシールやポスター・書籍など盛りだくさん！  
ランチを持ち寄って、おしゃべりしませんか？

12:30～13:30

**中学実践レポート** 植野由希恵さん

（元・埼玉県戸田市立戸田中学校）

13:30～13:50

中学実践 Q & A

14:00～15:00

**高校実践レポート** 花田禮司さん（都立国立高校）

15:00～15:20

高校実践 Q & A

15:30～17:15

**記念講演** 是枝律子さん

（サンチの会代表・ボランティア活動家）

マザーテレサに出会って一下る道は上る道—

17:15～17:30

少人数習熟度別授業についての報告

Information

17:30

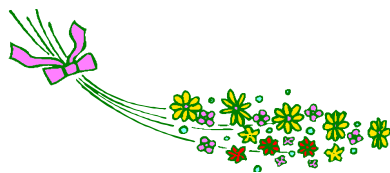
終了予定 二次会・懇親会あります

※なるべく昼食を持参ください！

参加費： 2000円（会員1500円）

連絡先： 島崎 090-9832-3006

- 高輪台駅 浅草線  
A2 出口より徒歩 7 分
- 白金台駅 南北線/三田線  
A2 出口より徒歩 7 分  
都営バス（駅より 6 分）  
明治学院前下車
- 品川駅より目黒行/  
目黒駅より大井競馬場行





## マザーテレサに出会って一下る道は上る道—

是枝 律子（これえだ・りつこ）さん

1936年台湾に生まれ、1960年長崎医科大学付属高等看護学校を卒業、看護師として勤務されていましたが、45歳の時ボランティア活動をしていた大阪あいりん地区釜ヶ崎の路上の本屋でたった20円の沖守弘著『マザーテレサあふれる愛』に出会い「いつかこの人に逢いに行こう」と決意します。

この夢は50歳で実現、本物のマザーテレサに会って魅了され「この方の役に立ってみたい」と思い看護師をやめて、その後10年間インドと日本を往復しながら必要とする医療器具や献金を手渡し、現地でボランティア活動をされました。

1997年マザーが天に召された日も現場にいて、朝のミサまで出ておられたことを不思議に思われたそうです。1997年11月交通事故で片足を失われ車椅子生活となり、生きる気力を失う日々でしたが、インドの友人からの電話でマザーハウスの礼拝堂に「是枝姉妹が交通事故により痛みと苦しみの中にあります。お祈りください」と書かれていることを知り、我に返ります。

今回の講演では、日常のマザーテレサの素顔に触れ、忘れることのできないエピソードなどを踏まえて、修道会の出来事、是枝さん自身の体験をスライドを交えてお話しいただきます。

## 全員参加の授業を目指して



植野 由希恵さん（元・埼玉県戸田市立戸田中学校）

ちょうど1年前に定年退職。37年間の授業を振り返って発表させていただきます。私は新英研に育てて貰ったと思っていて、恩返し気持ちです。

心がけてきたことは「全員参加」と「平和」。実際の授業のDVDも見ていただきます。50分の授業をどのように進めたか、新出単語の導入、教科書本文の扱い方、文法、target sentenceの導入&どのように定着を目指すか、etc.

「平和」を念頭に置いて、どのように授業の中で扱ったか。それに加えて、授業のアイデアや提出物の指導や定期テスト対策やテスト後の指導なども紹介したいと思っています。退職した今、現場の先生方に伝えたい思いがあふれています。1人でも多くの先生に聞いていただけたら嬉しいです。

## 故きも温め新しきも知る



花田 禮司さん（都立国立高校）

「英語の授業は英語で行うことを基本とする」新指導要領になって以来、“ALL ENGLISH”の形のみにとらわれていることはないでしょうか。進学校でも、高校に入学してきた時点ですでに「中学では教科書を丸暗記しておけば『5』が取れた。でもそのうちにわけがわからなくなった。」という生徒がいます。辞書の使い方、単語帳の作り方、文法を踏まえた英文和訳・和文英訳など、古くから私たちが英語を学ぶために使ってきた手法はきちんと伝える必要があると考えます。同時に、英語を使って行う活動はどのようなものなら意味があるのか、ルーティンワークになりがちな音読の再検討、学んだ英語を使う One-minute Talk など、いくつかの試みを実際に体験しながら、みなさんでアイデアを出し合いたいと思います。